

2014年12月号  
2014.12.19  
NO.121-1

# AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>



トピックス

## ヒューマンストレス産業技術研究会 第28回講演会 「におい・香りの心理・生理とその応用」開催のご案内

(H27.1.20 大阪、千里ライフサイエンスセンター)

本研究会はストレスに対して生体はどのように応答するのか、またどのように防御機能を高めるのかを明らかにするとともに、ストレスマーカーを同定することにより、ストレスの度合いを計測・評価するデバイスを開発し、ストレスの科学の発展、それに関わる技術の開発、産業の創生に努め、身体とこころの健康な、質の高い生活を維持して、活力ある高齢化社会の実現に貢献することを目指しています。

この度「におい・香りの心理・生理とその応用」をテーマとして第28回講演会を開催いたします。多数のご参加お待ちしております。

【日 時】平成27年1月20日(火) 13:00～16:30

【会 場】千里ライフサイエンスセンター5階サイエンスホール  
(大阪市営地下鉄御堂筋線千里中央駅徒歩すぐ)

【参加費】無料

### 【プログラム】

1. 開会挨拶 13:00～13:05
2. 講演① 13:05～13:50  
題目：「嗅覚に関する生体計測・脳機能計測」  
講師：藍野大学 外池 光雄 氏
3. 講演② 13:50～14:35  
題目：「嗅覚を介したストレス緩和神経経路及び人工の鼻センサ開発への取り組み」  
講師：独立行政法人産業技術総合研究所 健康工学研究部門 佐藤 孝明
4. 休憩 14:35～14:55
5. 講演③ 14:55～15:40  
題目：「ストレスの生理、心理学的評価および香りのストレスへの影響」  
講師：花王株式会社／筑波大学 矢田 幸博 氏
6. 講演④ 15:40～16:25  
題目：「匂いセンサと嗅覚ディスプレイ」  
講師：東京工業大学 中本 高道 氏
7. 閉会の挨拶 16:25～16:30
8. 情報交換会 ※講演会が終わり次第開始、1時間程度(無料)

### ヒューマンストレス産業技術研究会

ストレスを学際的、工芸連携的、文理融合的に研究し、  
その成果として得られるエビデンスをもとに、  
関連産業技術を創生、発展させるための研究会です。



### 【お問い合わせ先】

独立行政法人産業技術総合研究所  
健康工学研究部門内 ヒューマンストレス産業技術研究会事務局  
〒563-8577 大阪府池田市緑丘1-8-31 E-mail: hstech-ml@aist.go.jp

【お申し込みはこちらから】

ヒューマンストレス

検索

CLICK!!

<https://unit.aist.go.jp/hri/association/stresstech/symposium.html>

2014年12月号  
2014.12.19  
NO.121-2

# AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>



## 次世代バイオナノ研究会 平成26年度 第1回研究会 「健康長寿社会を目指したMEMSものづくり」開催のご案内

(H27.2.10 香川、高松サンポート合同庁舎アイホール)

本研究会は、健康工学・ナノ医工学を中心とした次世代バイオナノ技術における将来の新たな研究課題とその実用化の可能性について検討を行うとともに、当該分野における産学官の連携および共同研究体制の確立を行い、国家プロジェクト等への研究提案をすすめることにより、関連基盤技術の産業化・実用化を目指しています。

この度「健康長寿社会を目指したMEMSものづくり」をテーマとして研究会を開催いたします。多数のご参加お待ちしております。

【日 時】平成27年2月10日(火) 13:00～16:30

【会 場】高松サンポート合同庁舎アイホール  
(JR高松駅より徒歩すぐ、合同庁舎低層棟2階)

【参加費】無料 (但し交流会のみ会費2,000円)

### 【講演者(予定)】

- 健康ライフコンパス株式会社 取締役 斎藤 健一 氏  
「自己採血による健康セルフチェックの現状と課題」
- 独立行政法人産業技術総合研究所 健康工学研究部門 萩原 義久  
「未病計測システム実現へ向けた三位一体開発～バイオマーカー、抗体、機器」
- 香川大学 工学部 知能機械システム工学科 准教授 鈴木 孝明 氏  
「細胞・染色体解析技術を目指したMEMSものづくり」
- パナソニックヘルスケア株式会社顧問 南海 史朗 氏  
「バイオ電池の研究から血糖センサの事業化へ」

### 【お問い合わせ先】

独立行政法人産業技術総合研究所  
健康工学研究部門内 次世代バイオナノ研究会事務局  
〒761-0395 香川県高松市林町2217-14  
電話:087-869-3571 FAX:087-869-4113 E-mail:bionano-ml@aist.go.jp

【お申し込みはこちらから】

次世代バイオナノ

検索

CLICK!!

<https://unit.aist.go.jp/hri/association/bionano/symposium.html>

2014年12月号  
2014.12.19  
NO.121-3

# AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>

トピックス

## 新技術セミナー（高知、松山）及び 行動観察能力セミナー開催のご報告

今月初旬、弊所が主催及び共催するセミナーが四国各地で開催されましたので、ご報告いたします。  
多数のご参加、誠にありがとうございました。



12月8日(月)、高知県工業技術センターにおいて、産総研・新技術セミナー(高知)を開催いたしました。

弊所の中島研究グループ長から、細胞及びマウスを用いた食品成分の機能性評価の実施例として、柚子皮による抗炎症作用やオリーブ抽出成分の糖尿病への効果などを紹介しました。また、同じく弊所の垣田主任研究員より、室戸海洋深層水の藻類生物生産への利用などを紹介しました。

12月10日(水)、弊所において、行動観察能力育成セミナーを開催いたしました。

主催は弊所も参画している四国地域イノベーション創出協議会。大阪ガス行動観察研究所株式会社の越野孝史氏をお招きし、「行動観察」についての講演を行いました。ワーキングマザーの家事行動観察や男子高校生・大学生の洗顔行動観察などの事例紹介があり、「無意識」領域で行われる人の行動を人間工学、心理学などの視点から詳細に観察することで、潜在的なニーズやリスク、スキルを抽出することができ、ビジネスでの利活用につながると述べられました。



12月11日(木)、愛媛県庁において、産総研・新技術セミナー(松山)を開催いたしました。

弊所の田尾所長から、産総研のグリーンイノベーションの取り組みとして、レアメタル等の金属資源のリサイクル技術や排水の再生利用による環境負荷低減と水資源確保に関する技術等について、紹介いたしました。また中四国地域の公設研より、環境・エネルギー分野に関連する研究開発事例の紹介がありました。



2014年12月号  
2014.12.19  
NO.121-4

# AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>

トピックス

見学にお越しいただきました皆様、ありがとうございました。

(高知工業高等専門学校様、KTC中央高等学院高松キャンパス様、  
21世紀源内ものづくり塾様、高知県工業技術センター様)

10月～11月にかけて多くの皆様が弊所の見学に訪れました。お越しいただきました皆様、ありがとうございました。またお会いできる日を楽しみにしております。なお、見学は随時、受け付けております。ご希望の方は弊所HPをご確認の上、お申し込み願います。

AIST四国

検索

CLICK!!

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/sangakukan/kengaku.html>



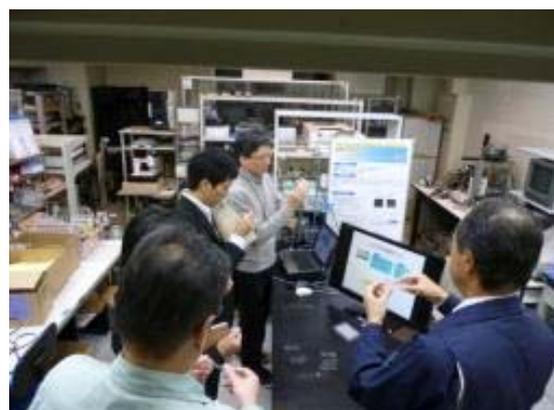
10月16日 高知工業高等専門学校様



10月31日 KTC中央高等学院高松キャンパス様



11月7日 21世紀源内ものづくり塾様



11月12日 高知県工業技術センター様

2014年12月号  
2014.12.19  
NO.121-5

# AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>

トピックス

## 四国センター（健康工学研究部門）の「お遍路の心と体に与える影響調査」がNHK「遍路ミステリー 1200年の謎」で紹介されました。

弊所、健康工学研究部門では「100歳を健康に生きる」ための技術開発に取り組んでいます。この度、同部門が高知大学と連携して進めている「歩きお遍路が心と体に与える影響調査」の内容の一部が、NHKの番組「遍路ミステリー 1200年の謎」にて放送されました。

放送日：平成26年12月12日（金）19：30～  
タイトル：遍路ミステリー 1200年の謎

※再放送（予定） 平成27年1月10日（土）10：05～（1時間15分程）



※写真はH26年2月に行われた実験の様子です。

他機関の情報

## かがわ糖質バイオフィォーラム第7回シンポジウム

（主催：かがわ糖質バイオフィォーラム、公益財団法人かがわ産業支援財団）

かがわ糖質バイオフィォーラムでは、遺伝子治療における臨床研究の先駆者であり、また内閣府規制改革会議委員として健康食品の機能性表示容認を提言されている大阪大学大学院医学系研究科教授の森下竜一氏、日本初の特定保健用食品のコーラである「キリンメッツコーラ」を開発し、また最近、「希少珈琲」を発売しましたキリンビバレッジ株式会社商品開発研究所部長代理の若林英行氏をお招きしてのシンポジウムを開催します。

【日時】 平成27年1月19日（月） 13時～17時15分  
（交流会 18時～19時30分）

【場所】 シンポジウム：「かがわ国際会議場」高松シンボルタワー タワー棟6.7階

交流会：サンポートホール高松「第2小ホール」高松シンボルタワー ホール棟5階

【参加費】 無料（交流会：3千円）

【詳細はこちらから】

かがわ糖質 第7回

検索

CLICK!!

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kgwpub/pub/cms/detail.php?id=24148>

2014年12月号  
2014.12.19  
NO.121-6

# AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>



出版物紹介



## 産総研・出版物のご紹介

産総研では、最新の研究成果をはじめ、産業技術・科学技術をわかりやすく紹介するために様々な出版物を発行しています。最近の出版物をご紹介します。



### ○産総研レポート2014

産総研は、社会のために成果を創出すること、そして、それらをわかりやすい形で発信していくことは重要であると考えています。近年、環境に関する責任だけでなく、CSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）への社会的関心が高まり、企業においても積極的に取り組まれています。このような背景をもとに2010年度より、産総研における社会的責任(SR)への取り組みとこれまでの環境報告書とを一体的に編集し、発行しております。

※四国センター（健康工学研究部門）「細胞チップを用いたマラリアの早期診断技術」の記事がございます。



### ○ここにもあった産総研 No.3

本書は、産総研が発信してきた研究成果が、どのように社会につながっているのか、研究開発の過程でどのような発見や苦勞があったのか、その研究成果がどのような可能性を秘めていると考えているのか――。

そのような産総研の魅力ある成果を、開発に携わった研究者や、今まさに研究開発をしている研究者に、直接、語ってもらうことで、わかりやすくお伝えしようとしたものです。

No.3では医療・福祉の現場で活用されているアザラシ型ロボット「パロ」などをご紹介します。



### ○産総研Today 12月号

産総研で行われる研究開発を、研究者の言葉でお届けします。また産総研の経営情報やいろいろなニュースも交えて、様々な角度から産総研を紹介する月刊広報誌です。12月号は「社会インフラのスマートメンテナンス技術」の特集です。2012年12月に起きた笹子トンネル事故により、わが国の社会インフラの老朽化が一挙に注目されることになりました。特集では社会インフラ維持にかかわる産総研の研究の一部をご紹介します。

AIST出版物

検索

CLICK!!

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/aistinfo/aistinfo.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/aistinfo/aistinfo.html)

2014年12月号  
2014.12.19  
NO.121-7

# AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>



その他

次世代認定マーク「くるみん」を取得しました。



産総研は、仕事と育児を両立できる職場環境の整備に取り組んでおり、2014年10月、東京労働局長より次世代認定マーク「くるみん」の認定を受けました。また、仕事と介護を両立できる職場環境の整備促進のためのシンボルマーク「トモニン」も取得しています。

引き続き、産総研「次世代育成支援行動計画」に基づき、仕事と育児・介護の両立支援に取り組めます。



「くるみん」



「トモニン」



その他

## 編集後記

2014年も残すところあとわずかとなりました。  
本年は格別のご愛顧を賜り、  
誠に有難く厚く御礼申し上げます。  
なお、弊所の年末年始の休業期間は下記の通りです。

〔年末年始休業期間〕 12月27日（土）～1月4日（日）

新年は1月5日（月）より業務開始となります。

来年も幸多き一年になりますよう、お祈りいたしております。



ハートマークを背負っている  
幸多き猫とてんとう虫  
(編集部撮影)